



潮中だより

紋別市立潮見中学校

令和 8 年 3 月 24 日発行



教育目標：自ら求めて学ぶ生徒 豊かな心と強い意志をもつ生徒 たくましい体をつくる生徒

【令和 7 年度スローガン】みんなが心地よい、笑顔あふれる潮見中！

今年度の重点：互いに高め合い、未来を切り拓く生徒の育成
～生徒が主人公となる授業・学級・学校づくり～

～『誰とやるか』にこだわらず、『何ができるか』でつながる集団～ 校長 佐藤 隆

3月17日(火)、1・2年生を対象に全校学活を行いました。令和8年度、潮見中学校は大きく変わります。その構想を、誰よりも先に、主役である生徒たちへ一番に伝えたかったからです。

全校学活の冒頭では、紋別市内で水道関連の会社を経営されている浦辻さんから、講演をしていただきました。浦辻さんは、剣道少年団の指導もされており、これまで百数十名の剣士を育てられている方です。本校の生徒でもお世話になっているとのことでした。

浦辻さんは、剣道を通して、子どもたちに技術だけでなく、心を育てることを第一に考え、指導されているとのことでした。長い指導経験の中で、心を育てることの難しさを常に感じているそうです。

講演が進むにつれ、場内の空気は一変しました。当初は少し落ち着きのない様子を見せていた生徒たちも、次第に浦辻さんの言葉に引き込まれ、最後には食い入るような眼差しを向けていました。挫折に屈せず、真摯に向き合い続けてきた浦辻さんの「生き様」そのものが、生徒の心を強く揺さぶったのでしょう。可能性に満ちた若者たちへ、浦辻さんは次のような力強いメッセージを託してくださいました。

- 1 夢を追いかける力の素晴らしさ
- 2 勉強の意味・・・社会へ出るための基礎である
- 3 学校のルールを守る意味・・・社会の厳しさに備えるという意味もある

文字にすると簡潔ですが、その言葉には本当に重みがありました。来校していただいた保護者の方々からも、ぜひ、また、講演してほしいというご意見があるほどでした。私自身、保護者の皆様に、機会があれば、浦辻さんの言葉を生で聞いてほしいと思っております。

浦辻さんが生徒一人ひとりの心に「夢を追いかける素晴らしさ」という種をまいてくださり、温かな期待感に包まれた体育館。その空気の中で、私は令和8年度に向けた潮見中学校の新たな歩みについて、次のように話を切り出しました。

みなさんがある目的を達成するために力を合わせなければならないとき、この人じゃなきゃ・・・気が合わないから・・・とかではなく、目的を達成させるために、誰とでも話し合ったり、協力できる集団であってほしい。その実現が私の夢の一つです。(社会に出たときに最も求められる資質の一つだと考えているからです。)

※ 私の夢はもう一つあるのですが、スペースがないので割愛します。

この後、学校に関わる人たちに、想いを共有するために、全校学活で使用した資料を一部ですが、示したいと思います。

これからの潮見中が大事にしていくことは・・・

夢・志をカタチにする「5つの土台」



左記では、生徒一人ひとりの夢を実現するために不可欠な三つの要素——自分と相手を大切にする「自他尊重」、自らを律する「自己調整」、そして自らの意志で選択する「自己決定」について、生徒たちと共有した内容を掲載しました。

一方で、こうした成長は教職員や保護者の力だけでは成し遂げられません。学校は「生徒のため」にある以上、何よりも生徒自身が「自らやろう」と前向きになることが出発点です。その意欲を支えるべく、大人が手を取り合い、連携していくことが重要だと考えています。右記には、その実現に直結する具体的な五つの取組を示しました。

未来への地図を描こう！



これまでの「生徒手帳」に代わり、新ツール「みらい・キャンパス」を導入。これにより、学習状況やメディア利用時間を瞬時に可視化し、自ら夢や目標に向けて生活を整える「自己調整力」を育む環境を構築します。あわせて、個々のニーズに応じた放課後学習の充実も図っていきます。詳細は、4月のオリエンテーション等で詳しく説明する予定です。

ステップ2：見えない時間を「見える化」する魔法



毎日やることは簡単。勉強とスマホの時間を

すると、自動でグラフに変身！

「数学がんばった！」
「今週はゲームしすぎたな」
が、ひと目でわかります。

【トレーニングエリア：放課後学習】集中力を味方につけて、確実な「装備」を手に入れよう！



最後に、3月9日（月）に、全学年の保護者の方に「授業中のトイレ利用と、お子様の健康管理について」、2学年の保護者の方に「現在の教育環境の状況と今後の取組について」という文書を通じて、学校の状況の説明や保護者の方へのご協力依頼をさせていただきました。

文書配布以降、複数回のトイレ利用などがあり、体調不良の改善が見られない生徒については、自宅での静養等の対応がご家庭との連携によりスムーズに取れるようになりました。授業中の離席は大幅に改善しました。まだ、休み時間中の不必要なトイレ利用の改善は不十分ですが、該当生徒に対して、粘り強く説明していきたいと考えております。

授業参観についても、文書配布以降、多くの保護者の方に来ていただきました。「文書の内容通りでした」というご意見もあれば、「作業の時間は、みんなが頑張っていましたね。どの授業でもこのように取り組めると良いですね。」「子どもの様子や頑張りを知ることができて良い機会になりました」というご意見もいただきました。開かれた学校という意味では、とてもプラスな取組だと改めて感じました。

4月も引き続き、授業参観を行います。お近くの保護者の方をお誘いして、来校ください。

3年生の思い出

3月13日4名のご来賓をお迎えし、卒業証書授与式を挙。59名の3年生が巣立ちました。



春休みの困った時の相談窓口

学校の連絡フォーム

<https://forms.gle/ZfE769xL4gHqg8e87>



24時間子どもSOSダイヤル（文部科学省）

0120-0-78310

子どもの人権110番（法務省）

0120-007-110

少年相談110番（北海道警察）

0120-677-110

潮見中学校を去られる教職員より

お世話になりました。新天地でもご活躍を。

藤田 秀平 先生

（赤平市立赤平中学校）

コロナとともに紋別に来て以来、6年間お世話になりました。みんなご家族が健康に幸せに過ごされることを祈念申し上げます。

杉原 智樹 先生

（ご退職）

潮見中学校での経験をもとに、これからも精進していきます。4年間本当にお世話になりました。

磯部 真吾先生

（ご退職）

1年間という短い間でしたが、多くの経験に恵まれ充実した日々でした。ここでの学びを糧に、次の一步を踏み出します。感謝。

石井 恵子さん

図書館司書

（紋別市立紋別中学校）
本を読む人が偉いとか、賢いとは思わないけれど、読んでよかったと思う本はたくさんあります。これからそんな本と出会ってほしいです。



校長の巻頭言でもあるように、4月も授業参観は継続します。新3年生以外の保護者の参観もOKですので、お時間がありましたら、学校に足をお運びください。

日	曜	行事	日	曜	行事
1	水	年度始め休業（～4/5）	16	木	第1回参観日（5時間授業） PTA総会
2	木		17	金	
3	金		18	土	
4	土		19	日	
5	日		20	月	
6	月	着任式・始業式7:50 新学級玄関掲示 給食無し 12:10下校	21	火	1年生学校面談（～4/28）
7	火	入学式 2・3年給食開始	22	水	3年生二計測・視力聴力検査
8	水	会議日（5時間授業）	23	木	3年生全国学力学習状況調査 2年生二計測・視力聴力検査
9	木	会議日（5時間授業）	24	金	1年生二計測・視力聴力検査
10	金	対面式 研修日	25	土	
11	土		26	日	
12	日		27	月	
13	月	委員会（6時間目）家庭環境調べ提出メ切 3年生学校面談（～4/20）	28	火	全国学力学習状況調査（英語話すこと等）
14	火		29	水	昭和の日
15	水		30	水	

令和8年度グランドデザイン

4月16日の参観日でもご説明します。潮見中学校1年間の方針となりますので、お読みください。また、小中連携グランドデザインは今年度、小中教職員と学校運営協議会委員とで共同作業でつくった目標であり、こう育ってほしいという願いです



令和8年度 紋別市立潮見中学校 学校経営グランドデザイン

【オホーツク管内教育推進の重点】

オホーツクの子どもたち、教職員の Well-being の実現

子どもたち一人一人の可能性を引き出す教育の推進
学びの機会を保障し質を高める環境の確立
地域と歩む持続可能な教育の実現

【紋別市教育の基本理念】 生きがいと夢を紡ぐ教育

〈つむぐ〉 人間形成の基礎を培い、健やかに生きる人づくり
〈かかわる〉 市民の多様な活動を高める学習機会の充実
〈はぐくむ〉 芸術・文化活動の推進と歴史文化の継承
〈いきる〉 “生きる力の基礎を育む教育の推進”

【潮見中学校区】

義務教育9年間で育てたい子ども像

キーワード 夢・志 共生 貢献

小中連携
グランドデザイン



【本年度 重点教育目標】

互いを高め合い 未来を切り拓く生徒

キーワード 夢・志 自他尊重 自己決定 自己調整

生徒会目標

決まり次第、入力

学年目標_{3年}

決まり次第、入力

学年目標_{2年}

決まり次第、入力

学年目標_{1年}

決まり次第、入力

【本年度 研究主題】

思考を深め広げる対話的な学び ～ 個別最適な学びと協働的な学びを往還して ～

キーワード 夢・志 自他尊重 自己決定 自己調整

【保護者・地域（小学校含む）との連携・協働の合言葉】

お互いが互いの応援団となる

キーワード 子ども（生徒）が主語 伴走 持続性 研鑽

目標達成のためのベースとなる考え

誰もが安心して自己決定できる集団づくり

⇒ 小さな成功体験や周りから承認される機会を増やす

誰一人取り残さない環境づくり

⇒ 多様な悩みや困り感に寄り添い、成長を支える

夢・志を語り合える集団づくり

⇒ 新しい出会いや気づきをつくる / 自分自身を見つめる機会を増やす

自立した学習者の育成

⇒ 粘り強く取り組む / 学び直しの機会を増やす / 見通す力をつける

個人思考・集団思考を楽しめるマインドの育成

⇒ 見方・考え方をはたらかせる / コミュニケーション力をつける

具体的取組

